

金沢大学
融合学域
先導科学類 〔仮称〕

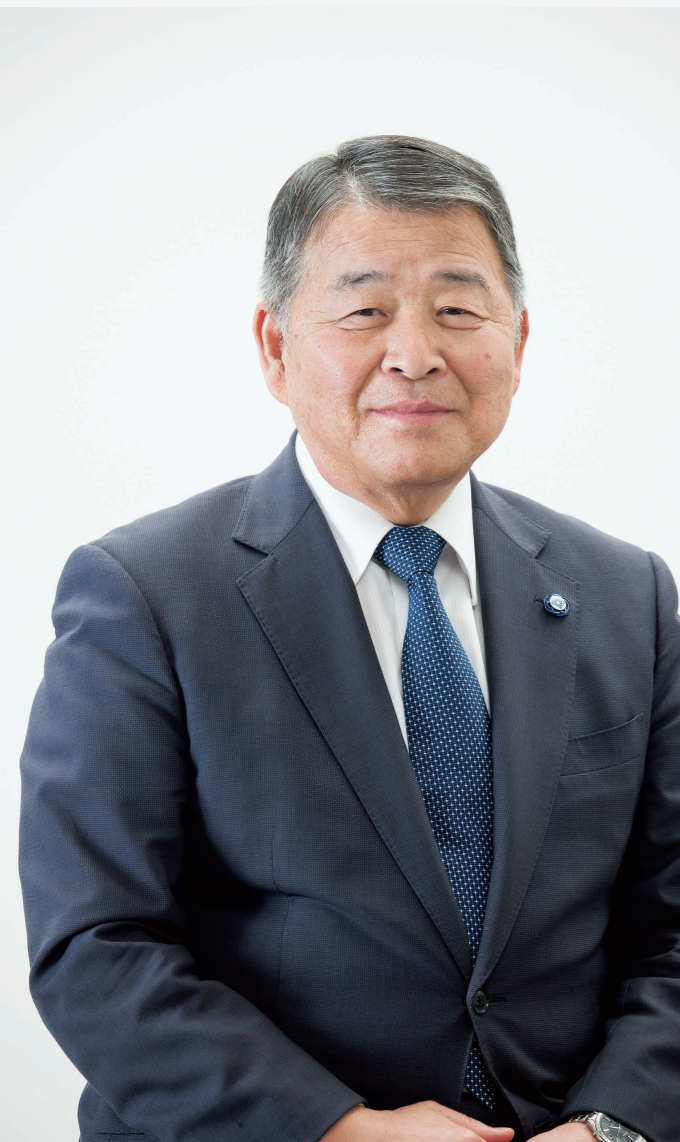
令和3(2021)年 設置申請中

Ver.2

文理融合の知識を基に
社会変革を促す。

自分を変える、
未来も変える

新しい知識との出会いが、
挑戦できるチャンスが、ここにある。
多角的に見渡せる視野を身に付け、
広く深い知識を翼に変えて、
目の前に広がる空へ飛び立とう。
空にはボーダーラインなんか無い。
限界も可能性も、
自分で変えられる。
未来を想像するんじゃなく、
ここから創造しよう。



ご挨拶

ICT技術の発展を背景に我々を取り巻く社会では、すべてのものをインターネットでつなぐIoT、そこから得られるビッグデータ、AI(人工知能)などの活用が著しく進展し、かつてないほどの勢いで技術革新の波が押し寄せてきています。

日本そして世界を取り巻く環境が大きな変革期を迎えている今こそ、金沢大学は、大学憲章に謳う「21世紀の時代を切り拓き、世界の平和と人類の持続的な発展に資する」役割を果たし続けることを本学の責務とし、その具体的なアクションとして令和3年4月に融合学域先導科学類を新設することとしました。

現代は、規格化された製品の大量生産・大量消費が成長を支える工業中心の社会から、新たな価値の創造や、より高度な情報・知識に基づく付加価値の高い製品・サービスの提供が成長を支える知識基盤社会へと転換しつつあります。さらに、グローバル化の進展に伴い、高度な専門的知識の修得にとどまらず、問題の本質を見抜く力とともに、多様な背景を持つ人々との協働により課題を解決する意欲と実行力とを育む学びを提供することが大学に求められています。モノづくりを中心として成長を遂げてきた我が国の国際競争力が衰退しつつある今日、日本の未来を切り拓き、世の中を変革する尖った人材、イノベーター待望論が叫ばれるようになりました。

融合学域先導科学類では、現在・未来における課題の発見とその解決を目指して、人文・社会・自然科学等の幅広い分野を往還しながら学修できるカリキュラムを提供します。「多分野にわたる学びと連携・融合」及び「アントレプレナーシップの醸成」を柱とするカリキュラムにより、イノベーションの創成をリードする社会変革人材を養成します。この新たな学域から、従来の常識や殻を破り、社会を変革し、新しい未来を切り拓く人材、そして世界と渡り合える人材を輩出し、今後も「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」としての使命を果たしてまいります。

金沢大学長 山崎 光悦

ご挨拶

融合研究域は、金沢大学の4番目の研究域として令和2年4月に新設しました。発足は4番目ですが、学則上は1番目に記載しています。これは、この研究域に掛ける山崎学長の意気込みの強さと金沢大学の期待の大きさを表しています。この研究域を母体として、令和3年4月には融合学域先導科学類を新設すべく申請中です。

この研究域は、停滞した現在の日本社会を変革する志に基づいて、従来の学問領域に囚われない新しい研究領域を開拓することを目的としています。また、融合学域は、広範な分野にわたる教養と文理融合の専門的知識を修め、課題発見・解決モデルを推進することで、地域と世界に貢献することを理念とし、知識基盤社会で中核的リーダーシップを発揮できる社会変革人材(イノベーター)の養成を目標としています。

この研究域と学域のキーワードは、文理融合(異分野融合)、デザイン思考、アントレプレナー、イノベーション、そして多様性です。

最近いくつかの国立大学で文理融合を目指す新しい学部が設置されています。文理融合など「机上の空論」であり、文理融合教育は、両分野の研究者を寄せ集めたに過ぎないという批判があることは確かです。こうした批判は、柔軟な考え方(創造的なマインドセット)を基本とするデザイン思考からは生まれません。われわれは、学内から自薦・他薦を問わず、異分野に挑戦することを厭わない多様な人材を選び抜き、学外からも有望な人材を集めて教員組織を創り、アントレプレナー教育をイノベーションの一手段として出発しました。

かつてJapan as Number Oneと言われた時代もありました。しかし、日本の国際的な地位は、最近20年で大幅に低下しており、新型コロナウイルス感染症を経験した世界では、日本経済の貧困化がさらに進み、日本は先進国の地位からも脱落してしまうという指摘があります。これは、1990年代後半からイノベーションが停滞し、優れた製品やサービスを生み出せなくなってしまったことが原因です。われわれは、この日本の現状を打破する教育・研究を展開することを目指さねばなりません。

理事・副学長 融合研究域長 大竹 茂樹



設置構想図

文理にとらわれない(新学域・新学類)としての設置を構想しています。

令和3(2021)年
設置申請中

融合学域
先導科学類(仮称)

多様な分野やシステムについて
融合的・統合的に学修し、
社会変革をリードする人材を育成

■学域イメージカラー「千草色」
●千草(千種)は「様々な、種類の多い」など「多様であること」を意味する
●染物の技術では重ね染めの下地色として使われた、つまり「土台」の色

人間社会学域

- 人文学類
- 法学類
- 経済学類
- 学校教育学類
- 地域創造学類
- 国際学類

理工学域

- 数物科学類
- 物質化学類
- 機械工学類
- フロンティア工学類
- 電子情報通信学類
- 地球社会基盤学類
- 生命理工学類

医薬保健学域

- 医学類 [6年制]
- 薬学類 [6年制]
- 医薬科学類 (申請中)
- 保健学類 / 5専攻

INDEX

ご挨拶	1	対談	7
先導科学類とは	3	融合学域専任予定教員	9
3つの特長	4	入試情報	11
カリキュラム	5	学生指導体制	13
学修マップ	6	金沢ガイド	14

自分を変える、 未来も変える

令和3(2021)年4月 設置予定

融合学域 先導科学類(仮称) 設置

School for the Future of Innovation in Society, College of Philosophy in Interdisciplinary sciences

大きく変わろうとしているこれからの社会では、学問分野を問わず幅広い知見を備えた「社会変革を先導する中核的リーダー」となる人材が不可欠です。イノベーションの創成をリードする社会変革人材の育成を目指し、令和3(2021)年に融合学域先導科学類を設置します。

先導鍛錬科目では、国際インターンシップと海外留学いずれかを必修とすることに加え、プロジェクト実践型演習を課し、ダイバーシティ環境や多様な条件下で最新の知見や他者との共創を学びます。

また、学生自らが企画・立案し、現実社会のシステムや制度、未来の課題を対象に自由な発想で教員や学者と共にアプローチし、より実践的に学ぶ環境があります。

【一般選抜】

前期日程(文系傾斜、理系傾斜)、
前期日程(文系一括、理系一括)

【特別選抜】

KUGS特別、超然特別、在外留学生推薦、社会人、
帰国生徒、国際バカロレア、私費外国人留学生

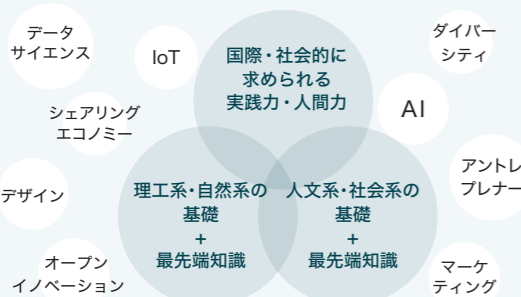
《融合学域》のアドミッション・ポリシー

あらゆる意味で社会が変容し、従来の知識、制度、方法等では、国力の維持や強化に耐えられなくなりつつあります。多様な脅威にさらされるこれからの社会では、「社会変革を先導するリーダー」となる人材が不可欠です。そこで先導科学類では、自己の鍛錬を続けて人・科学・社会の変革を先導する意欲を持つ人材を育成します。社会の要請に応えるため、人文・社会・自然等の科学分野を往還し、融合的な学知と他者との共創を通じて、各界で未踏のイノベーションの創成をリードする社会変革人材の養成を目指しています。

【融合学域先導科学類が求める人材とは】

先導科学類では、次のような意欲ある入学者を求めます。

- 様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- 多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- 最先端の学知を融合し、社会変革に資する新たなモデル創成に挑戦したい人



社会変革 国際協働 文理融合

全く新しい手法で解決・イノベーションを起こす

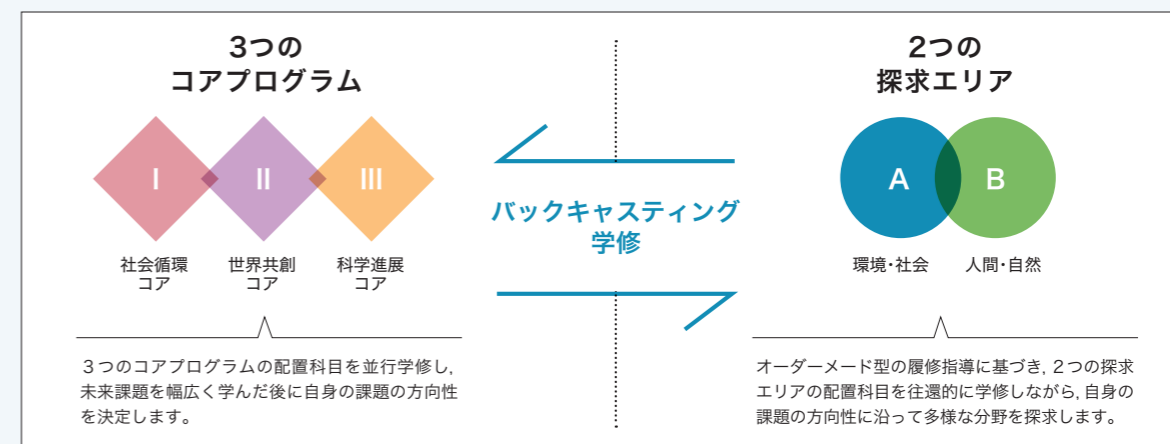
複雑化・多様化する
未来の課題に対応

1 柔軟に学ぼう！ 文理融合プログラムで専門知識を身に付ける

- ▶ 〈コアプログラム×探求エリア〉による学修を実践します。
片寄りのない文理融合プログラムのもと、自らの志向に合わせて最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。

【コアプログラム × 探求エリア】

基礎を体系的に学修しながら、先鋭的な学びも横断して学修できるカリキュラム。



2 社会へ飛び出そう！ 多様な人・価値観に触れ、人間力を鍛える

- ▶ 1年次は【金沢大学〈グローバル〉スタンダード(KUGS)】に基づいて共通教育科目を中心に学修し、常に恐れることなく困難に立ち向かっていける能力・体力・人間力を養います。
- ▶ 2年次以上では、アントレプレナーインターンシップ・海外実践留学・国際インターンシップなど国内外への派遣を必修とし、社会に飛び出して沢山の経験を積み、実践力を身に付けます。

【金沢大学〈グローバル〉スタンダード】

金沢大学独自の人材育成基準(5つの学修成果)



1. 自己の立ち位置を知る
2. 自己を知り、自己を鍛える
3. 考え・価値観を表現する
4. 世界とつながる
5. 未来の課題に取り組む

【アントレプレナーインターンシップ】

産業界と連携し、学内外で起業家精神や実践手法を学ぶ。



3 自ら実践しよう！ 未来の課題に取り組み、社会変革に踏み出す

- ▶ 3年次半ばから4年次には、身に付けた知見を連携・融合し、自身の設定した課題解決やインターンシップによる実証実験・社会実装プロジェクト等の立ち上げに挑戦できます。学生自らが企画・立案し、現実社会のシステムや制度、未来の課題を対象に自由な発想で教員や学者と共にアプローチし、より実践的に学びます。

【プロジェクト実践型演習】

自らが設定した未来課題とその解決策について、より実践的なものとして深化させる。



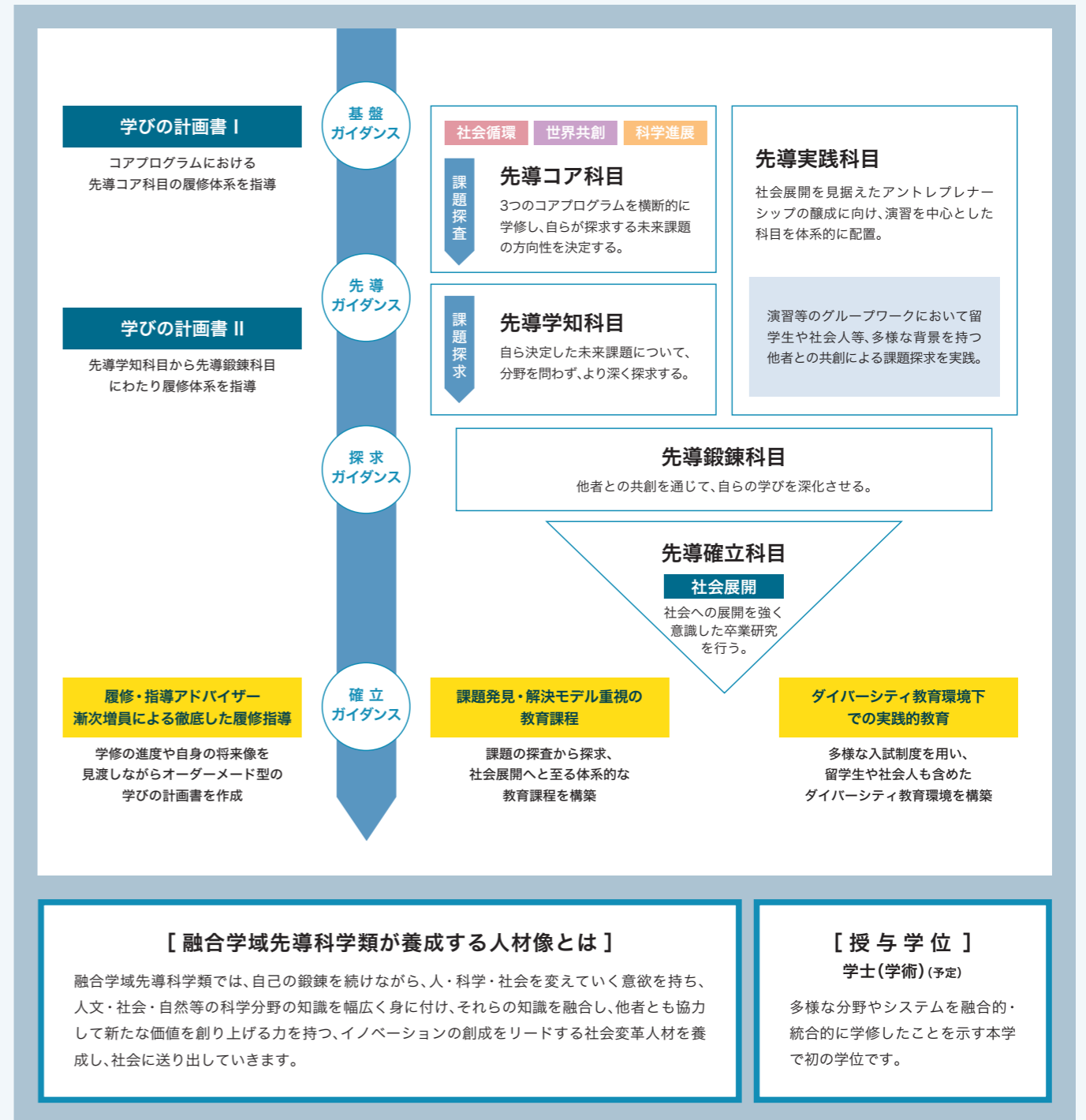
片寄りのない文理融合プログラムのもと、自らの志向に合わせて最新知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。

共通教育科目 38単位以上			
導入科目	GS科目	GS言語科目	基礎又は初習言語科目
専門基礎科目			
学域GS科目	2単位 イノベーション基礎	数理・データサイエンス基礎及び演習	
学域GS言語科目	2単位 学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語	学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語	
先導実践科目	12単位 アントレプレナー基礎 デザイン思考演習	アントレプレナー演習Ⅰ、Ⅱ アントレプレナーコンテスト	デザイン思考 アントレプレナーインターンシップ
先導コア科目	18単位以上	社会循環コアプログラム	
	AIと未来社会 社会変動と労働生産性 消費生活論	シェアリングエコノミー フィンテック基礎とビジネス応用 倫理学	現代社会を知る 超スマートシティと Society 5.0 ファイナンス基礎
	世界共創コアプログラム		
	異文化理解とキャリア開発 ダイバーシティ促進 ビジネスと政治	国際世界と特許 国際共助 SDGs基礎	グローバリゼーション 人の流動と定着 マーケティング基礎
	科学進展コアプログラム		
	社会的な視点から見る医療 人工知能 数理統計学基礎	生命科学的な視点から見る医療 世界の課題と技術トレンド 世界変革技術論	未来医科学 IoT技術 テクノロジー基礎
専門科目			
先導学知科目	30単位以上	マーケティング論 管理会計論 創業支援論 需要予測 プレジジョンメディシン 比較制度論 心理学概論 未来型ヘルスケアシステム 超高齢化社会と科学技術 医療制度改革と医療経済 先導数学 AI・IoT健康福祉学 光学技術論 コンピュータと電子回路 プログラミングスキル	経営管理論 ESG投資 知的財産法 情報ネットワーク テクノロジーと医療・健康・介護 地域政策論 公共政策論 都市・交通デザイン 地域包括ケアと地方創生 アプリ開発 データサイエンス実践 センシング論 フィジカル・ブレイン接続 地球環境論 SDGs実践
先導鍛錬科目	4単位	学術考究 or 潜在課題探査分析演習	先導プロジェクト演習
先導確立科目	8単位	先導研究 or 先導演習 or 先導試験	
自主選択枠	10単位以上		
		海外実践留学 or 国際インターンシップ	

先導科学類の特色

【第5期科学技術基本計画(2016年1月)】
科学技術イノベーションを「科学的な発見や発明等による
新たな知識を基にした知的・文化的価値の創造
と、それらの知識を発展させて**経済的、社会的・公共的
価値の創造**に結び付ける革新」と定義

国の提言等を踏まえ、新たな「知」の創出に向けた**分野融合型教育**と
社会への展開を見据えた**アントレプレナーシップ教育**を体系的
に行う教育システムを構築。
各界で未踏の**科学技術イノベーションを先導する
人材**を養成。



融合学域ってどんなところ？ 教員×学生 座談会 (敬称略)

融合学域に興味を持ってくれた3名の学生に集ってもらい、専任予定教員と座談会を行いました。

尾島 今日は金沢大学の新しい学域学類について、学生さんたちのお話を聞きたいと思っています。現行の人間社会、理工、医薬保健に加え、令和3年4月に第4の学域である融合学域が設置されます。変化する社会の中で、今までの学びのカテゴリでは対処できない課題が出てきています。まさにコロナがそうですね。新学域では社会的課題を解決しながら社会を変えていこう、新しいことをしたいという目的をもった人材養成を目指しています。松島先生、そこではどんな教育が必要だとお考えですか？

松島 一つは文系理系を超えて融合していくこと。融合がポイントで、例えばコロナに対しては、感染症学、保健衛生学、医学、法学、化学など、単独ではなく、また、個別の学問の方法論からの語りの寄せ集め(「サラダボール」)ではなく、融合(「メルティングポット」)させることで新しい「コロナ学」を創るまでに行きたい。二つ目は、まさに直面する社会課題の発見・設定をトリガーに、課題解決をアンカーにすること。三つ目はアントレプレナーとしてのマインドセット。社会を変えるんだ、世界を1ミリでも変えるんだという人材を育成していきたいですね。

文理融合教育で 未来の社会課題に挑む

尾島 現状の学びは活かしながら、新しいものへ取り組む新学域の印象について、学生さんたちはいかがですか？

戸辺 大学として初めてということで、率直に新しいものへの不安もあるけど、楽しみでもあります。

北 私は高校生まで当たり前で文理特化されてきたなかで、自分があまり取り組んでいなかった分野を学ぶことに対応できるか不安があります。

松島 解決したい、学びたい、という動機づけがあればできるはず。私は社会人になったころ、英語が苦手だった。でも、自分が海外でビジネスをしたいと、翻って勉強した。最初はタフかもしれないが、なぜしなければならぬかという動機づけがあればやれる。それをこの学域で提供していきたい。

今井 融合学域はいいと思います。企業説明会に出ていて、企業、社会が求める人材は、文系だけでも理系だけでもないということがわかった。企業は社内教育に重点を置いているので、文系の出席者でも大丈夫と勧誘しているIT系企業もあります。この学域はこれからの社会にぴったり合います。

尾島 金沢大学では、文理融合教育の取り組みを大学院で始めていて、北陸先端科学技術大学院大学と新学術創成研究科融合科学共同専攻を設置しています。新しい学域では、それを学類レベルで行います。

松島 これからは、問いを立てる方法が重要。そのあとその問いに対する答えを導く方法を学ぶ必要がある。今までは水が欲しいなら、誰かが井戸を掘ってくれていたから良かった。「井戸の掘り方」がわからないのでは、持続可能ではない。それを可能にするスキルを教える必要がある。融合学域が担うべき教育がそこにある。

北 文理融合ができる学生が生まれたらとても

いいですね。専門科目を突きつめて、他の知識は直接必要なくても、例えば他の分野で学んだアプローチが効いてくるとか、自分が考えたことが全く違うところで活かされるとか、そういうことになりそうです。

戸辺 そうですね、いろんな知識や理系的なアプローチ、思考法により、個人が解決できる問題をいろんな社会課題に対応させる学生が育ってくるんじゃないかと思っています。

アントレプレナーシップで “自分を変える”

松島 課題を軸にして考えたとき、座学だけでなく、インターンシップ、場合によっては企業や政府機関、さらには海外でも、半年とか一年とか実践的に学ぶカリキュラムをこの学域では考えています。

今井 インプットばかりでなく、実際にアウトプットしないと身に付かない。アウトプットができる場があるのはとても効果的だと思います。

松島 インプットからアウトプットまでとにかくやってみる、「やってみなはれ」が重要。そうでなければ学んだことの重要性がわからない。

尾島 潜在的、未来的な課題を自分で見つけることが重要ですね。

戸辺 海外に行き日本の常識が取り外された経験は、その場だけでなく、その後の人生に活かされる指針になる。そのきっかけを大学が提供してくれるのはありがたいです。

松島 座学による能力取得も大事だが、もっと大事なのは肌感覚、ニオイ、体感するなど五感を総動員すること。実は課題を見つけることや設定できさえすれば、すでに8割くらい解決していることもある。この学域で学ぶことは大きな経験値になる。

北 この学域に求められているのは、自分で新しい課題を発見し、それに向かって挑戦する学生だと思います。そう考えると、現状のインターンシップは例えば就活のためにすることが多いですけど、ここでは例えば地域課題解決に取り組む等、スキルアップを求めているインターンシップだと思っています。

松島 皆さんは新しいスキル、それこそ力はずすにある。まだ引き出されていないだけ。オーダーメイドで、それぞれが現状を認識した上でカスタムメイドのインターンシップをする。実は自分はこれが適しているかもということがわかるインターンシップが重要。

戸辺 インターンシップを通して自分が成長できればいいと思います。企業から指示されるままのインターンシップはあまり意味がない。将来を真剣に考えるきっかけにしたいです。

松島 本当に自身が成長するインターンシップに繋がっていくといいですね。

今井 インターンシップを目的にするのではなく、将来の自分が成長するための手段にすべきで、そっちの方が絶対がいい。

“社会を変える”人材

尾島 この学域では「社会変革をリードする」人材の養成を目指していますが、どういった人が社会を変えていけると思いますか？

戸辺 柔軟性があり、自ら一つの考えに固執せず、多方面から物事を捉えられる人だと思います。

北 私は自分の信念をしっかり持ち、社会課題



が、例えば貧困であればそれが解消されるだけでなく、そこからさらに改善したいという信念がずっと変わらない人だと思います。

松島 柔軟性と固い信念を持ち合わせる。相反するかもしれないがそれが同居している。そうじゃないと実行力が伴わない。

北 周りの意見を受け入れることも重要。でも肝心なのは流されない信念がある人じゃないかなと思います。

松島 何をしたいか、どういう社会を創りたいかという信念は重要。その過程で妥協も突破力も両方必要です。

今井 行動力があれば変えられる。もちろん、そこにはなにかしらフラストレーションがあるかもしれませんが、そもそもそれをどうするかを考える人は少ないし、行動する人はもっと少ない。

松島 口先だけで終わりでなく、口より先に体が動く人が最終的に結果を出す。

戸辺 今、自分たちの目指すべきものがない。昔は、出世をする等ある種の目指すべきテンプレ

トがあった。でも今は自由が提供されている。聞こえはいいが難しい問題。日本も社会全体も何をしたいのかわからないという状況で、北さんが言う信念を見つけていきたいです。

松島 自由は、なんでもできるという喜びとまだ白紙でなにも成っていないという恐怖の両面がある。軸足をおく場所が重要ですね。今までの時代のような、いわゆる企業戦士などのロールモデルに基づいて、キャッチアップすればいいという時代から、自分たちで自分たちの将来を見つける時代へ。解がない自由を満喫できるかどうかがキーになります。

北 私は大多数と違う人を弾かない社会を創りたい。人種、ジェンダー、不登校問題など、古今東西そういう事例は枚挙にいとまがない。大企業に就職することが最善だという扱いを受けることも多い。

尾島 多種多様という意味では、この学域では外国人留学生、社会人も集う、ダイバーシティ教育環境の中で学ぶのですが、これに関してどう思いますか？

今井 とてもいいことだと思っていて、小中高まで同じ地域、年齢、狭いところで考え体が凝り固まってしまう、小さい世界で閉じてしまう。同類性の促進される環境では、多様性は生まれにくい。

松島 単一的思考はAI的と揶揄されている。知のスタンダードになり得るのが融合という学問ですね。

戸辺 自分がなりたいもの、軸を見つけられるようなカリキュラムはこの学域にありますか？

尾島 ひとりひとりに応じた学びの計画書をつくります。どのような学びが必要か、ひとりひとりに寄り添っていきます。

松島 オーダーメイド、カスタムメイドのカリキュラムですね。人と人のふれあいを大事にしたい。

北 融合学域は社会のイノベーターをつくるということですが、他の学域との明確な違いはどこにありますか？

松島 そうですね。地域限定のもの、海外と融合するもの、企業との連携等、今まではありえないような組み合わせを創りたい。すべて自由に設定できる。自身の学問を前提として知の異種格闘技と捉え、なんでもありで取り組みたい。

戸辺 融合だけの取り組みで閉じるのではもったいない。他の学域・学類との提携を期待しています。

ありがとうございました。



松島 大輔 教員

今井 祐希さん
フロンティア工学類2年

北 穂奈美さん
地域創造学類2年

戸辺 昂佑さん
フロンティア工学類2年

尾島 恭子 教員

[探求エリア 環境・社会]

全体最適な環境・社会の構造発展



「ひかり」に群れるな、「かがやき」を放て！
～真のアントレプレナーたるもの、来たれ



グローバル
アントレプレナー論
リスタートアップ論
松島 大輔
MATSUSHIMA Daisuke

KEYWORD
イノベーションの興し方/課題発見型学習/
方法としての新興アジア/世阿弥のプレゼン
道/ビヨンド・コロナ

壁を越えよう！その先には新しい未来がある



家政学・
生活科学
尾島 恭子
OJIMA Kyoko

KEYWORD
消費生活/消費者教育/生活経営/
生活文化

金沢から世界へとイノベティブに羽ばたこう！



言語学
ダガン さがの
DUGGAN Sagano

KEYWORD
グローバルコミュニケーション/アカデミック
イングリッシュ/実践英語/海外留学

自分の個性や能力を活かして力を尽くすための
知識や方法を学びませんか



環境科学
西脇 ゆり
NISHIWAKI Yuri

KEYWORD
環境/バイオマス/生分解性/セルロース/
透明な木

様々な企業や研究室の仲間とともに
イノベーション創出に挑戦しよう！



イノベーション論
マーケティング論
金間 大介
KANAMA Daisuke

KEYWORD
新製品開発プロセスの探求/ビジネスモデル
の立案・評価/企業の競争力の源泉/企業と
大学の連携/チャレンジ精神や創造性の源泉

自分が望む社会を創るための原動力に、自分になる



持続可能な
発展
河内 幾帆
KOUCHI Ikuho

KEYWORD
SDGs/環境問題/ソーシャルイノベーション/
アクティブラーニング/環境教育

鳥の目・虫の目・魚の目・コウモリの目を鍛え、
縦横無尽に生きる力を養いませんか？



文化人類学
高沼 理恵
TAKANUMA Rie

KEYWORD
異文化理解/自分の人生の方向性の検討/他
者との協働・対話/越境型教育/経験から学ぶ

起業家や科学者にとって何よりも大事なものは
人の心をつかむ能力である



哲学・倫理学
小田桐 拓志
ODAGIRI Takushi

KEYWORD
倫理/技術/環境/生命/映画

ここに紹介の教員はごく一部です。これからさらに教員を増やし、充実したカリキュラムを提供していきます。

[探求エリア 人間・自然]

持続可能な人間・自然の基盤進化



あらゆる学問の壁を取り払って融合させてこそ
未来の科学が始まる！



人間工医学
宮地 利明
MIYATI Tosiaki

KEYWORD
健康・保健・医療/からだの中をうつします/
生体機能イメージング/MRI・CT・超音波・
近赤外光・・・

Think Big, Start Small, Learn Fast!



メディカル
イノベーション
米田 隆
YONEDA Takashi

KEYWORD
予防医学・健康増進/デジタル医療(AI/
IoT・Big data)/医療政策/遠隔診療/
オンライン診療

新型コロナウイルス感染症を乗り越えた
新しい社会で活躍しよう



生体情報内科学
大竹 茂樹
OHTAKE Shigeki

KEYWORD
白血病/臨床研究/化学療法/臨床検査/
インターネット

堅実な科学技術に基づいた起業が
日本そして世界の将来の繁栄につながる



がん診断・
治療学
高松 博幸
TAKAMATSU Hiroyuki

KEYWORD
がんと遺伝子/免疫療法/生物・医用工学/
ナノバイオプロセス/バイオリアクター

世の中をより楽しく良くするため何をなすべきか、
分野の枠を超えて取り組みましょう



電子工学
秋田 純一
AKITA Junichi

KEYWORD
半導体/Make/ユーザインタフェース/
IoT

さまざまな分野が融合すると楽しいことが
たくさんあります！ぜひ先導科学類へ！！



土木計画学
藤生 慎
FUJII Makoto

KEYWORD
交通・防災・まちづくり/まちなか観光・ク
ルーズ観光/医療ビッグデータ/インフラ
の維持管理/多種多様なビッグデータ

文系か理系かの枠にはまらず、興味があること、
必要なことを自分でデザインして学んでいこう



都市・交通工学
中山 晶一郎
NAKAYAMA Shoichiro

KEYWORD
交通計画/都市・地域デザイン/スマート
シティ/次世代モビリティ/人々の移動と
生活行動

金沢から世界へ！世界の人の「健康」を一緒に考えてみませんか



社会医学
石崎 有澄美
ISHIZAKI Azumi

KEYWORD
国際保健/ウイルス感染症/疫学/
公衆衛生学/SDGs

イノベーションは、
意外な分野や未開の分野への技術の転用から始まる！



応用情報学
佐藤 賢二
SATOU Kenji

KEYWORD
機械学習/DNA配列/画像認識/文字列
の意味/動物の行動

自分は文系とか理系とかの枠に収まらないと思う人は是非



人間情報学
南保 英孝
NAMBO Hidetaka

KEYWORD
人工知能/機械学習/IoT/センサ情報処
理/医療情報処理

令和3年度入学選抜(一般選抜・前期日程)に係る実施教科・科目等<予定>(実施教科・科目・配点一覧表)

学域	学類	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		共通テスト・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	配点合計	
融合学域	先導科学類	文系傾斜	国語	国語 必須	国語	国語総合	共通テスト	100	100(50×2)	100	100	100		500	
			地理歴史	世界史B 日本史B 地理B	『「地理歴史」から2科目』 または、 『「地理歴史」から1科目』	数学 その他	数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学A・数学B 総合問題	個別学力検査	200		200(選択)		400	200(選択)	800
			公民	現代社会 倫理 政治・経済 倫理・政治・経済	『「地理歴史」から1科目』 及び 『「公民」から1科目』	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	計(数学選択)	300	100	300	100	500		1300
			数学	数学Ⅰ・数学A 必須			計(総合問題選択)	300	100	100	100	500	200	1300	
			理科	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎 物理 化学 生物 地学	『「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目』 または、 『「物理」「化学」 「生物」「地学」 から1科目』										
			外国語	英語(注) ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	から1科目										
		理系傾斜	国語	国語 必須		数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B	共通テスト	100	50(50×1)	100	100	100		450
			地理歴史	世界史B 日本史B 地理B	から1科目	理科	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物	個別学力検査			400	250	200		850
			公民	現代社会 倫理 政治・経済 倫理・政治・経済	から1科目	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	計	100	50	500	350	300		1300
			数学	数学Ⅰ・数学A 必須											
			理科	物理 化学 生物 地学	から2科目										
			外国語	英語(注) ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	から1科目										

(注)大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験で一定以上のスコア※の場合、スコアの提出を認めます。
対象とする英語外部試験は、ケンブリッジ英語検定(リンガスキル含む)、実用英語技能検定、GTEC(CBT)、IELTS、TEAP(4技能又はCBT)、TOEFL iBT(Special Home Editionを含む。)*です。
これらの英語外部試験のスコアは得点化を行い、大学入学共通テストの「英語」の得点と比較して高得点の方を利用します。
英語外部試験のスコアの提出を認める場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。
※本学が求める一定以上のスコア：ケンブリッジ英語検定：140、実用英語技能検定：1950、GTEC(CBT) 910、IELTS:3.0、TEAP(4技能)：225、TEAP(CBT)：420、TOEFL iBT:42

KUGS特別入試 本学は、自己の使命を国際社会で積極的に果たし、知識基盤社会の中核的リーダーとなって、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける“金沢大学ブランド”人材の育成を教育目標としており、これを実現するために5つの能力からなる金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)を定めています。「KUGS特別入試」では、本学が提供する「KUGS高大接続プログラム」を受講した高校生などが、当該プログラムで課される課題レポートと、高等学校等での探究的な学びや課題意識を持って取り組んだ各種活動に関する課題レポートを提出し、KUGSに基づく評価基準で評価を受け、基準を満たした場合に出席資格を与えます。入試では入学を希望する学類の入学受入方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、口述試験や小論文などにより「主体性」「協働性」などを評価し、志願者の能力・資質及び意欲に重点を置いた選抜を行います。

超然特別入試 「超然特別入試」には、(1)A-lympiad(エーリンピアード)選抜、(2)超然(ちょうぜん)文学選抜の2つの選抜があります。「超然特別入試」の選抜では、高等学校等在学中に本学が主催するコンテスト「日本数学A-lympiad」又は「超然文学賞」に応募し、所定の入賞実績を上げた場合に出席資格を与えます。「超然特別入試」は、入学を希望する学類の入学受入方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、口述試験や小論文などにより志願者の能力・資質及び意欲に重点を置いた選抜を行います。

◆学生募集活動は、設置認可後に開始します。最新情報は、本学のWebサイト及び入試情報アプリで確認してください。

選抜の基本方針(先導科学類入学定員 55名<予定>)

1. 一般選抜

前期日程/文系傾斜・理系傾斜 **募集人員** 文系傾斜 20名 理系傾斜 20名

文系傾斜では、基礎学力を問うとともに、国語、英語に加え、数学又は総合問題を課して、理系傾斜では、基礎学力を問うとともに、数学、理科及び英語を課して、いずれも学力を多面的に評価します。

前期日程/文系一括・理系一括 **募集人員** 先導科学類へは文系・理系から 各3名

文系一括では、基礎学力に加え、英語の学力と総合的な課題(総合問題)の理解力・論理的思考力・表現力等を、理系一括では、数学及び英語の基礎学力に加え、物理又は化学の学力を、それぞれ重視します。なお、一括入試での入学者は、国際基幹教育院総合教育部に1年間所属し、2年進級時に、本人の志望、学業成績等を考慮の上、移行学類(先導科学類へは文系・理系から各3名)を決定します。

2. 特別選抜

KUGS特別入試/総合型選抜Ⅱ **募集人員** 2名

基礎学力に加え、文章を理解する能力、論理的思考力、表現力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を多面的・総合的に判定します。

KUGS特別入試/英語総合選抜Ⅱ **募集人員** 2名

基礎学力に加え、英語による総合的な課題(総合問題)、口述試験(プレゼンテーションを含む。)を課して、論理的思考力や国際的なコミュニケーション能力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を中心に多面的・総合的に判定します。

超然特別入試/A-lympiad選抜 **募集人員** 若干名

口述試験(プレゼンテーションを含む。)では、多面的な質問を行い、数学的に特異な才能を活かして社会的な課題に取り組む意欲を総合的に評価します。

超然特別入試/超然文学選抜 **募集人員** 若干名

口述試験(プレゼンテーションを含む。)では、多面的な質問を行い、文学的に特異な才能を活かして社会的な課題に取り組む意欲を総合的に評価します。

在外留学生推薦入試 **募集人員** 5名

口述試験(プレゼンテーションを含む。)では、多面的な質問を行い、本学入学後の勉学意欲や先導科学類への適性を総合的に評価します。

社会人選抜 **募集人員** 若干名

小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価します。口述試験(プレゼンテーションを含む。)では、多面的な質問を行い、勉学意欲や先導科学類への適性を評価し、実務経験での努力のプロセス及び志願理由書等の書類を含めて多面的・総合的に審査します。

帰国生徒選抜 **募集人員** 若干名

数学及び英語の学力を重視するとともに、口述試験(プレゼンテーションを含む。)により理解度、勉学意欲、基本的知識等を多面的・総合的に評価します。

国際バカロレア入試 **募集人員** 若干名

出席資格に定める国際バカロレア資格の要件充足に加え、小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価し、口述試験(プレゼンテーションを含む。)では、理解度、勉学意欲、基本的知識等を、多面的・総合的に評価します。

私費外国人留学生入試 **募集人員** 若干名

基礎学力を重視するとともに、口述試験(プレゼンテーションを含む。)により、コミュニケーション能力、勉学意欲及び本学での学びに必要な能力・資質を、多面的・総合的に評価します。

融合学域では、文理融合の多彩な授業科目から、個人に最適な履修科目を選定するため、教員による手厚い履修指導を行います。学生と教員等との協働の場として、毎年度 **ガイダンス** を開催し、そこで学生の出口志向等を見据えたオーダーメイド型の「**学びの計画書**」を作成します。

入学ガイダンス	入学時	入学者を対象に、履修ガイダンス及び学類オリエンテーションを行います。
基盤ガイダンス	1年次	クラスごとに配置する指導教員から、履修方法や正課外での活動を含む教務・学生生活全般にわたる指導を受けます。
先導ガイダンス	2年次	各学生の共通教育科目における履修状況や学修進度等を踏まえ、オーダーメイド型の「 学びの計画書 I 」を作成します。体系化した学びから課題を設定し、教員のアドバイスにより自身の将来像を明確にしていきます。
探求ガイダンス	3年次	コアプログラムにおける履修状況や学修進度、未来課題設定に向けた方向性等を踏まえ、「 学びの計画書 II 」を作成します。必要に応じて他学類開講科目の履修や、基礎的な知見を身につけるためのバックカスティング学修 [*] を取り入れます。教員の指導による、多様な分野の学びも未来課題設定につながる道筋になります。
確立ガイダンス	4年次	指導教員が「 学びの計画書 I・II 」の進捗を確認するとともに、個人の学びに応じたバックカスティング学修 [*] や他学類開講科目も含めて履修を指導します。さらに、卒業研究・演習に関し、必要に応じて指導教員とは異なる分野の専門家や企業家からの指導を受けるようアドバイスします。

^{*}バックカスティング学修：未来の社会で活躍する理想の自分を思い描いたとき、学び足りないと感じる分野が出てくる場合もあります。そんな時、本学類では先導学知フェーズへ進んだ後でも、立ち戻って専門基礎科目を学ぶことができます。

他にも相談・支援・指導を受けられるチャンネルを多数準備し、他学域教員や、

- 学生支援課就職支援室：キャリアコンサルタントやキャリア・産業カウンセラー、産業界や学外経験者が、
- 保健管理センター：フィジカルやメンタルの相談に医師・公認心理師・保健師・看護師が、
- その他に、なんでも相談室(主に1年次)、障がい学生支援室のメンバーや、学務部、国際部、研究・社会共創推進部等の各課専任事務職が、貴方を待っています。

留学生就職促進プログラム

日本での就職を目指す外国人留学生には、入学時からビジネス理解や日本語能力獲得を重視しながら先導科学類の教育課程を学修する特別プログラムがあります。

進学・就職状況(令和元年度4年制学士課程卒業生)

融合学域は、令和3年度に全く新しく設置する学域・学類で、前身の組織を有していないため、本学の既存3学域15学類の実績を掲載します(残る2学類は医学類、薬学類で6年制・卒業生156名)。

区分	人間社会学域	理工学域	医薬保健学域	合計
卒業生(4年制)	754	621	247	1,622
大学院進学者(別科等を含む)	4.4%・33	66.5%・413	30.4%・75	32.1%・521
就職者 就職率 99% (決定/希望)	産業界	142	67	552
	公務・教員・病院	260	36	383
	起業・自営等	22	5	35
	就職者計	82.9%・625	29.5%・183	65.6%・162
その他(試験準備・帰国者・研究生等を含む)	96	25	10	8.1%・131

金沢ガイド

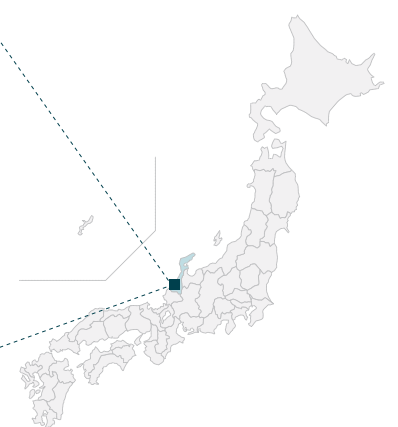
全国でも指折りの学術と観光資源を擁する文化都市・金沢は、現在も若者が増加し続けている住みやすく食べ物が美味しい街です。
金沢の地で、そして最先端の知見と実績を展開している金沢大学で「自分を変えて、未来も変えて」みませんか？
新しい知識との出会いが、挑戦できるチャンスが、ここにあります。



[写真提供] 金沢市

■金沢駅(兼六園口/東口)から金沢大学までのアクセス

[北陸鉄道バス利用の場合] 北陸鉄道株式会社 路線バス
 角間キャンパス(バス停:金沢大学自然研前, 金沢大学中央)まで
 [93] [94] [97]金沢大学行き(兼六園下経由) JR金沢駅から約35分



■多方面から金沢までのアクセス

※実際のダイヤ等は、各交通機関のWebサイトでご確認ください。

東京方面から

飛行機	[羽田] - [小松]	1日10便	1時間	※小松空港-金沢駅高速バス40分
JR	[東京] - [金沢]	《北陸新幹線かがやき》	2時間28分	
JR	[長野] - [金沢]	《北陸新幹線かがやき》	1時間6分	
高速バス	[新宿駅] - [金沢]	1日4~8便	7時間25~55分	
高速バス	[東京駅] - [金沢]	1日1便	8時間30分	

大阪/京都方面から

JR	[京都] - [金沢]	《特急サンダーバード》	2時間13分	
JR	[大阪] - [金沢]	《特急サンダーバード》	2時間30分	
高速バス	[京都] - [金沢]	1日6便	4時間	
高速バス	[大阪] - [金沢]	1日6便	4時間50分	

名古屋方面から

JR	[名古屋] - [金沢]	《特急しらさぎ》	3時間	※新幹線乗換 2時間30分
高速バス	[名古屋] - [金沢]	1日12便	4時間	

その他の方面から

飛行機	[札幌、仙台、成田、福岡、那覇] - [小松]			
-----	-------------------------	--	--	--



学務部融合学域設置推進室
 〒920-1192 石川県金沢市角間町

E-mail: new-gakuiki@adm.kanazawa-u.ac.jp
 Tel: 076-264-5910 Fax: 076-234-4040



金沢大学入試情報アプリ

今すぐダウンロード!



入試情報